

提出された意見及びそれらに対する総務省の考え方

提出された意見	意見に対する考え方
<p>設備規則第49条の14 第1項第二号 並びに 設備規則別表第三号 22（平成19年総務省告示第368号）において、隣接チャンネル漏洩電力、帯域外領域におけるスプリアス発射の強度及びスプリアス領域における不要発射の強度の許容値の規定が、「給電点で $x \times \mu W$ 以下。ただし、送信空中線の絶対利得が 0 dB 以下の場合にあっては、等価等方輻射電力で $x \times \mu W$ 以下。」と規定されておりますが、以下のような問題点があるため、情報通信審議会答申で記載されておりますとおり、アンテナ利得の高低にかかわらず、上記ただし書きを削除するなど、給電点規定が適用できるようにご配慮をお願い申し上げます。</p> <p>1 動物に取り付ける小型空中線の場合、当該周波数では一般的に 0 dBi 以下となるため、実質的には等価等方輻射電力規定の適用となります。</p> <p>2 隣接チャンネル漏洩電力、スプリアス発射の強度及び不要発射の強度の技適・認証に係る測定におきましては、広い周波数範囲において放射測定を行うか、または広い周波数範囲のアンテナ利得の値を必要とします。前者につきましては、技適・認証における測定時間が大幅に長くなり非現実的ですし、また、後者につきましても広い周波数範囲のアンテナ利得の値を得ることは、大変困難な作業となります。</p> <p style="text-align: center;">【財団法人テレコムエンジニアリングセンター】</p>	<p>隣接チャンネル漏洩電力、帯域外領域におけるスプリアス発射の強度及びスプリアス領域における不要発射の強度（以下、「隣接チャンネル漏洩電力等」という。）の許容値については、基本的には送信機から給電線に供給される電力で規定されるものです。</p> <p>送信空中線利得が 0 dBi 以下の場合には等価等方輻射電力で許容値を規定することにより送信機から発射できる隣接チャンネル漏洩電力等を緩和することが可能となり、これにより送信機の開発及び製造コストの低廉化が図られるものと考えられます。</p> <p>今回、貴法人から提出された意見は無線設備の試験方法に係る内容であるため、試験方法を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

12月26日に意見募集されました、省令改正案につきまして、先の情報通信審議会の技術的条件に対し変更されている部分があり、測定に要する時間、費用等のメーカ負担増を懸念しております。

検討結果を以下の通りご報告申し上げます。

○報道発表資料等

8月26日 移動通信システム委員会報告(案)パブコメでは不要発射の強度、隣接チャンネル漏洩電力については、給電点規定またはEIRP規定としてどちらかで許容値を満足すれば良いとの規定になっておりました。

12月26日 省令改正(案)パブコメ不要発射の強度、隣接チャンネル漏洩電力については、空中線絶対利得0dB_iで給電点規定とEIRP規定に区分されましたが実際の空中線利得は-10dB_i~-20dB_i程度となり実質的に給電点規定が適用されず、EIRP規定のみと変更されたこととなります。

○懸念事項

現行の無線設備は空中線電力が給電点で10mWの無線設備は、不要発射の強度、隣接チャンネル漏洩電力、副次的に発する電波等の限度のすべてが給電点で規定されていたため空中線端子での測定が可能で、情報通信審議会の答申においても給電点での規定とされておりました。

今回の省令改正案では空中線利得0dB_i以下の無線設備は、不要発射の強度や隣接チャンネル漏洩電力の許容値がEIRPで規定されていますので、現行制度では空中線端子を同軸ケーブルで測定器に接続し、短時間で測定可能であった無線設備が、新たな制度では、この周波数帯で放射測定を実施することとなり、多大な測定時間と、設備が必要となり、普及を妨げることになるのでは、と懸念をしております。

以上、ご検討をお願い申し上げます。

【株式会社サーキットデザイン】

隣接チャンネル漏洩電力、帯域外領域におけるスプリアス発射の強度及びスプリアス領域における不要発射の強度（以下、「隣接チャンネル漏洩電力等」という。）の許容値については、基本的には送信機から給電線に供給される電力で規定されるものです。

送信空中線利得が0dB_i以下の場合には等価平方輻射電力で許容値を規定することにより送信機から発射できる隣接チャンネル漏洩電力等を緩和することが可能となり、これにより送信機の開発及び製造コストの低廉化が図られるものと考えられます。

今回、貴社から提出された意見は無線設備の試験方法に係る内容であるため、試験方法を検討する際の参考とさせていただきます。